

毛利栄子議員の9月県議会での質問と答弁の要旨を紹介します。一般質問、答弁の全文はホームページの**議会の様子**から、質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



＊ ＊長野県ゼロカーボン戦略の推進について＊ ＊

毛利 県は温室効果ガス排出量を2050年に実質ゼロをめざし、2030年度までに60%削減するとしているが最新の実績はどうか。

環境部長 2019年度1,213万トンCO2で2010年度比約22%の減少となっている。

毛利 省エネでは2030年度までに乗用車の1割10万台をEV車に、との目標を持っているがコストが高く切り替えできないので、支援策を検討してほしい。

環境部長 道の駅などへの充電設備設置に補助し、充電インフラ整備を重点に進めている。

毛利 県内の再生可能エネルギーのポテンシャルが高いのは太陽光と小水力だが、どのように取り組むのか。また再エネ電力の地産地消の取り組みはどうか。

環境部長 屋根ソーラーはいまだに約1割の設置にとどまっている。小水力は地域との合意形成にハードルが高いため、砂防堰堤などの施設も有効活用して取り組んでいきたい。自家消費も含め、再エネの地産地消は災害に強い地域づくりにも重要。取組を推進していく。

＊ ＊特別支援学校の環境整備について＊ ＊

毛利 特別支援学校は、臭くて古い和式トイレや雨漏りする寄宿舍など、老朽化、過密化、狭隘化が進み劣悪な環境にある。ここに至るまで迅速に対応しなかった教育委員会の責任は重い。緊急の対応が必要だ。

教育長 現在の課題については、早期に改善できるよう計画的な環境整備を進める。

＊ ＊リニア建設工事における尾越工区の残土処理について＊ ＊

毛利 リニア工事によるトンネル掘削工事の残土で、一級河川蘭川沿いの沢を盛土して建てられた工場跡地に、さらに盛土し最大高さ23mになる計画は住民から不安の声が出ている。大規模盛土の計画には第3者委員会を設置し専門家による対応が必要ではないか。

建設部長 専門的な知見を活用し、条例に基づいて適正に審査する。

毛利 工事申請に関して住民の意見がどう反映され、どう審査されるかの経過は公開されるのか。

建設部長 個別の案件について審査中は公表していない。

＊質問を終えて＊

今年の夏は異常な暑さでした。省エネ・再エネに積極的に取り組み、気候危機打開に真剣に立ち向かわなければ、地球と暮らしに未来はありません。県のいっそうの取り組みを求めました。

